

科目名	救急法			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
救急医学を理解し、対象者の急変時に対応できる知識・技術を習得する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
救急医療に必要な知識を習得し、緊急時に速やかな対応が実践できるよう、講義や実技で実施する。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
対象者の急変時に対して、的確な観察・判断・処置ができる。							
回数	講義内容						
1	救急医療概論						
2	バイタルサインの観察/全身観察						
3	バイタルサインの観察/全身観察						
4	止血法、包帯法、固定法、傷病応急手当						
5	心肺蘇生法；成人						
6	心肺蘇生法；AED						
7	心肺蘇生法；小児・乳児						
8	窒息の傷病者への対応						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準作業療法 作業療法評価学	岩崎テル子他	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
